

新寝屋川八景を訪ねる散策コース

淀川コース
 〽 広大で豊かな自然 〽
 淀川河川公園を歩き歴史を想う



淀川河川公園

裏面地図★印の場所には、写真のようなルートサイン（説明や地図板のついた石碑）があります。八景を巡って、様々な表情の鉢かづき姫を、探してみてください。

★スタート★



★ゴール★

道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。
 （右側のQRコードからアクセスできます）

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。



※掲載内容は、2024年12月時点のものです。

1 池田下の野神さん いけだしものがみさん

池田はかつて池田中・川・下の3つの村にわかれており、それぞれの村が五穀豊穡の神として「野神さん」を祀っていました。ここは池田下村の野神さんです。言い伝えによると、昔このあたりを領有していた茨田王（聖徳太子の弟）が、牛に乗って堤の巡視をしていました。その牛を池田の人は大切に飼育していましたが、やがて死んでしまいました。人々はその牛の遺骨を池田の3つの村に分骨し、これがそれぞれの野神さんの起源とされています。



2 池の里市民交流センター

平成18年9月に旧池の里小学校跡地を利用し、市民の交流の場・スポーツ施設として開設しました。文化・スポーツ活動・社会活動・青少年の居場所など、市民の活動拠点として利用されています。入口正面には、讃良川遺跡出土の木製樋や市域の小字を示した図を展示しています。



木製樋



3 仁和寺氏神社 にわじうじじんじゃ

「仁和寺」はかつて地元で「にわいじ」と呼んだこともありましたが、地名は京都仁和寺の所領であったことに由来すると考えられます。この仁和寺庄は、寝屋川市～守口市の淀川流域の広い範囲と考えられています。仁和寺村の氏神である仁和寺氏神社の創建は、室町時代の初期と伝えられ、もとは白山権現社でしたが、江戸時代の初め、天満宮となりました。延宝2年(1674)の堤防決壊時に社殿が流出したため、現在の位置に移ったといわれています。



4 淀川河川公園

新寝屋川八景

木屋(こや)～仁和寺の淀川左岸の河川敷に設置され、総合的な施設として多目的かつ手軽に利用できます。景観も市内の他に類のない広さで、季節によっては太閤堤防上の茨田堤碑あたりから眺めると、仁和寺鳥飼大橋と夕照のコントラストなど素晴らしいものがあります。平成21年制定の**新寝屋川八景**に選ばれています。



5 茨田樋跡 まったひあと

かつて、淀川からの取水口として二十箇用水樋以外では、池田・点野・仁和寺の3か所に用水樋がありました。明治37年、その3か所の用水樋を廃止し、新たに茨田樋が設置されました。その後、昭和5年に幹線水路から取水するまで利用されました。この合同用水樋を記念して、昭和5年、茨田樋の跡地に記念碑が立てられました。



6 茨田堤碑 まんだのつつみひ

淀川の堤防上の太閤公園を見下ろす場所に設置されています。茨田堤は『古事記』『日本書紀』に見え、仁徳天皇の時代に築かれた、日本で最初の河川築堤工事といわれています。堤の位置については諸説ありますが、淀川から分流する古川に沿って造られたと考えられます。



7 二十箇用水樋記念碑 にじっかようすいひきねんひ

二十箇用水樋は、文禄堤の築堤によって淀川からの取水ができなくなった友呂岐6か村が淀川に設けた農業用水です。当初は6か村だけの利用でしたが、のちに市内3か村や下流の村々など20か村の用水路となったことから、この名称がつきました。この二十箇用水樋は昭和3年に廃止されましたが、この用水の歴史を後世に伝えるため、昭和5年、この地に記念碑が立てられました。



8 生物多様性センター

昭和30年、大阪府水産試験場寝屋川養魚場として現在の地に設置されました。府内の水辺環境やそこに生息する生き物を守るための調査研究機関です。平成19年からは水辺の生物多様性保全のための拠点施設として新たに発足し、平成30年に名称を大阪府立環境農林水産総合研究所「生物多様性センター」に改称し、大阪の生物多様性の把握・評価・保全・普及についての調査研究に取り組んでいます。
 ※施設は自由に見学できます。



■開館時間：平日9：30-17：00■
 （※12月～3月は16：00まで）

9 鞆呂岐神社 ともろぎじんじゃ

美しい彩色で流造りの本殿をもつ神社です。境内の奥に「寄進の鳥居」と呼ばれる鳥居があります。「忠臣蔵」の題材となった、いわゆる赤穂事件で有名な赤穂浪士のひとり、村松喜兵衛秀直の四代目の子孫が寄進したもので、鳥居にはその名が刻まれています。



寄進の鳥居

◆入口鳥居横の狛犬◆



◆本殿前の狛犬◆



ちょっと一息...

鳥居横の狛犬は凛々しいお顔。対照的に本殿前の狛犬はとっても愛嬌があるお顔です。

新寝屋川八景を巡る散策コース 淀川コース

雄大な流れを誇る淀川の堤防や河川公園を歩き、かつては多くの舟が行き交い、人々の往来で賑わった京街道に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

夕暮れになると、対岸堤防の彼方にある山並みに夕陽が沈み、寝屋川市イチオシの絶景が広がります。

■距離：約 9 km ■所要時間：約 3 時間

スタート：京阪寝屋川市駅（西口）

0.8km／14分 ※距離・所要時間は目安です。

1 池田下村の野神さん

0.9km／15分

2 池の里市民交流センター

2km／34分 ★休憩 WCあり

3 仁和寺氏神社

0.6km/10分

4 淀川河川公園

1.8km／30分 ★休憩 WCあり

5 茨田樋跡（茨田樋遺跡自然公園）

1.2km/20

6 茨田堤碑

0.1km/2分

7 二十箇用水樋記念碑

0.2km/4分

8 生物多様性センター

0.5km／9分 ★休憩 WCあり

9 靱呂岐神社

1.3km/22分

ゴール：京阪香里園駅（西口）

発行：寝屋川市文化スポーツ室

